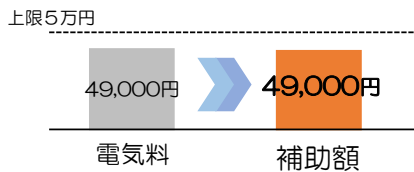


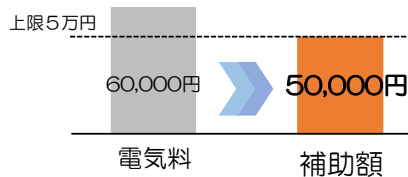
【別紙1】補助金額について（具体的な例）

(1) 電気料 … 上限5万円まで

①電気料が5万円未満の場合



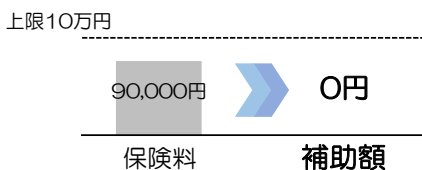
②電気料が5万円以上の場合



「保険料」と「工事費等」の申請は、**どちらか一方**です。
両方申請は出来ません。

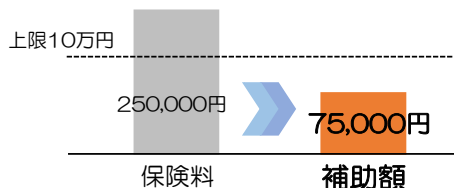
(2) 保険料 … 10万円を越す額に2分の1を乗じて得た額とし、上限10万円まで

①保険料が10万円以下の場合



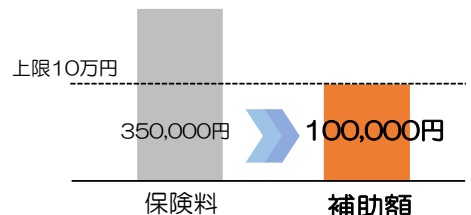
保険料
90,000円 - 100,000円 = -10,000円
マイナスになる為、補助額 0円

②保険料が10万円より多く30万円以下の場合



保険料
250,000円 - 100,000円 = 150,000円
10万円を越す額
↓
150,000円 × $\frac{1}{2}$ = 75,000円
上限金額以下の為、補助額 75,000円

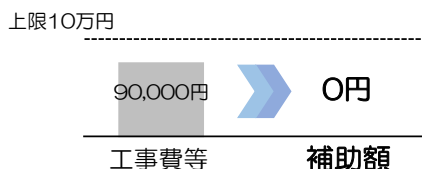
③保険料が30万円より多い場合



保険料
350,000円 - 100,000円 = 250,000円
10万円を越す額
↓
250,000円 × $\frac{1}{2}$ = 125,000円
上限金額を超える為、補助額 100,000円

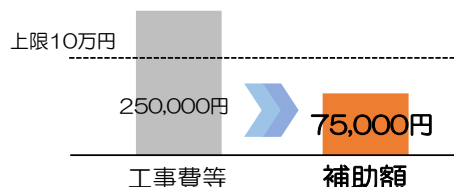
(3) 工事費等 … 10万円を越す額に2分の1を乗じて得た額とし、上限10万円まで

①工事費等が10万円以下の場合



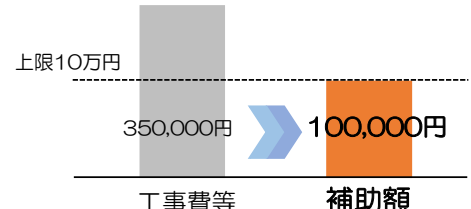
工事費等
90,000円 - 100,000円 = -10,000円
マイナスになる為、補助額 0円

②工事費等が10万円より多く30万円以下の場合



工事費等
250,000円 - 100,000円 = 150,000円
10万円を越す額
↓
150,000円 × $\frac{1}{2}$ = 75,000円
上限金額以下の為、補助額 75,000円

③工事費等が30万円より多い場合



工事費等
350,000円 - 100,000円 = 250,000円
10万円を越す額
↓
250,000円 × $\frac{1}{2}$ = 125,000円
上限金額を超える為、補助額 100,000円

※注意点

工事費等とは、共聴施設が落雷、火災、盗難等の偶然な事故により損害を被った場合に実施する工事を指します。

上記以外の、共聴施設の改修や木の伐採などは対象外です。